

エチュード 「三年後の太陽。」

とある公園。三人がそれぞれ違う方向を見ている。
手には飲み物(酒?)。

A 「駄目だったな。」

B 「・・・ああ、随分頑張ったんだけどな。」

C 「・・・。」

A 「これから、どうする?」

B 「そうだなあ・・・。」

A 「まずは、借金返して。」

B 「どうやって返す?」

A 「うん・・・。」

B 「まずは、職を探さなきゃ。」

A 「そうだな・・・。めんどくさいけど。」

B 「(C) お前は?」

C 「俺?俺は・・・どうしよつかなあ・・・。」

A 「お前、本当に無口だよな!？」

C 「そうかな?」

A 「無口だし、のろまだし・・・仕事も遅い!」

B 「おい、やめろよ。」

A 「お前を誘ったのは間違いだったよ!」

B 「いいから!・・・お前は、よくやったと思うよ?? (Aに)なあ・・・。甘かったんだよ、
考えが。会社作るのってさ、そんな簡単なものじゃなかったんだ。」

C 「・・・。」

A 「・・・ああ・・・そうだな。(Cに)ごめん。」

C 「いや。」

B 「借金だつて、そんなに残っているわけじゃないし・・・なんとかなるさ。」

A 「なんとかなあ・・・。」

B 「なんとかだ。」

A 「はは・・・でもよ、やっぱへこむよな。この二年間、ガムシヤラにやってきた結果がこれ
じゃあさ。」

B 「まあな。いい勉強にはなったけど。」

A 「いい勉強・・・か。そんなこと言ってられる歳でもないけどな。」

B 「いやいや、まだまだ若いよ。俺たち。」

A 「そうかあ?周りはどんどん結婚しちゃうしさ。年賀状とかの家族写真、嫌がらせにしか見え
ないよ。」

B 「他人の幸せを妬むなよ。」

A 「妬んじやいけないけどさ。選択肢間違えたなくつて。人生につまづいた感じで、いっぱいだ。」

B 「まあな・・・。」

C 「太陽。」

AとB 「え?」

- C 「日がでてきたね。」
皆、正面を向く。
- B 「ああ、さっきまで曇ってたもんな。」
- A 「お前さ、それがどうしたの？」
- C 「俺たちもさ、こんな感じなんじゃない？」
- A 「は！？もう、お前嫌だ。前からそうだよな？ 仕事でも、ボケーつと窓見てさ！」
- B 「ほらほら。」
- A 「窓見たって、空見たって、会社は大きくなんねえぞ！ 金も入ってこない！」
- B 「落ち着けよ！」
- A 「・・・。」
- B 「で？ 何が、どんな感じだったって？？」

C 「俺らの人生は、太陽みたいなものなんだ。自分が一生懸命輝いても、曇り空じゃ届かない。いくら熱く燃えていても、雨がふれば冷めてしまう。でも、それでいいんだ。馬鹿みたいに晴れる日があつて。曇りの日があつて・・・雨が降る日もある。今の俺たちは、曇り空。少し小雨も降っているかもしれない。でもな？ それでも太陽は、東から西へ。毎日毎日それだけなんだ。今は雲に隠れていても、晴れない日は絶対がない。だから・・・俺たちも、また晴れる日がくるよ！」

- B 「そうだな。そうだよな！ 今日の太陽だって、今やつと顔を出せたんだもんな！（Aに）な！？」
- A 「・・・まあ、あれだ！ もう一回やり直そうぜ！」
- BとC 「ああ！」
- A 「職探して、借金返して。そんでまた、集まろう！」
- C 「どれくらいかかるかな？」
- B 「金も少しは貯めなきゃな。」
- C 「ああ。」
- A 「よし！ 三年後！」
- B 「三年後か・・・まあ、それくらいかかるよな。」
- C 「そうだね。」
- A 「じゃあ、乾杯しようぜ！ お前仕切れよ！」
- C 「え？ 俺？ でもなあ・・・」
- B 「いいんだよ！ お前で。」
- C 「お・・・おう・・・よし！（息を吸って）三年後の太陽に！！」
- AとB 「三年後の太陽に！」
- AとBとC 「乾杯く！！！！」

笑顔が戻る三人。太陽は西へ傾き、三人を強く照らす。

おしまい。